

ホライゾン チーム出東

出東小学校 令和6年度学校だより NO.7 7月5日号 文責：秦 康人

夢と希望にあふれる学校

○進んで学ぶ子

○やさしい子

○元気な子

○ふるさとを愛する子



進んで学ぶ子

「学力向上」学校訪問がありました

6月19日(水)は、出雲市教育委員会学力向上推進係指導員の学校訪問がありました。各学級の授業を参観していただき、その後で本校の学力向上策に対する指導を受けました。指導員から「全体的に一生懸命に学習に取り組んでいる」「落ち着いて学習に取り組んでいる」「授業のめあてや学習の流れが黒板に示してあるので、見通しがもちやすくなっている」「ICT 機器が活用されていて、わかりやすい」「子ども同士で話し合いを進めていく場面がみられた」など、肯定的な評価をたくさんしていただきました。そして「高学年の算数は『比例数直線』の考え方は今後も思考に使っていくので、しっかりと思考ツールとして身につけてほしい」とアドバイスをいただきました。今後も引き続き、子どもたちに学習の見通しをもたせ、意欲を高めながら、学んだ内容や方法等の整理・確認を行っていかうと思います。



元気な子

プール掃除をして 水泳の授業を始めました

6月14日(金)に5・6年生がプール掃除をしました。昨年度に続き、今年度も子どもたちの手でプール掃除をしました。とても暑い中での掃除でしたが、みんな一生懸命に床や壁をたわしで擦っていました。自分たちが使うプールを自分たちで掃除することは、とても大切なことだと思います。

水泳の授業は6月24日(月)から始まっています。写真は1年生の授業の様子です。水を怖がらずに楽しく水泳をしています。

泳ぐ力をつけることは、自分の命を守ることもつながる大切な学習です。水に慣れて早く浮いたり泳いだりできるようになってほしいですね。



↓裏面に続く

やさしい子

ほっとトークが始まりました

昨年度も、同じ文面を掲載しました

本校では児童の教育相談として、毎学期に1回ずつ「ほっとトーク」の時間を設けています。ねらいは子ども達が教職員と1対1で話し合う時間をつくって、子どもへの理解を深める機会とすること、子どもと教員のふれあいの時間を通して話をするによって心を通じ合わせる機会にすることです。また、隠れているいじめの実態をつかむ手立ての一つとすることも目的の一つです。

担任の先生とは必ず行いますが、担任以外の先生とも相談することができます。事前に日頃の生活や困っていることなどのアンケートを行い、それも参考にしながら先生と話す時間を設けています。子どもたちには事前に紙芝居などを使いながら「ほっとトークの時間は、こころの健康観察をしたり、先生ともっと仲良くなるためにお話をしたりする場であること」「不安や悩みは、誰もが経験するしぜんなこと」「学校のこと、勉強のこと、友だちのこと、顔や体形のこと、家族のことなど、なんでも話ができること」「自分の好きなこと・好きな食べ物・得意なことなど、自由に先生とお話ができること」を説明しています。

1学期のほっとトークは6月11日から25日の間に5回行いました。普段は聞くことができない子どもの様子や悩み事などが分かる良い機会です。子どもたちも楽しみにしているので、しっかりと時間をかけて、子どもに向き合っていきたいと思います。

出東小学校開校150周年特集

～横断幕でPR～

今年度は「出東小学校開校150周年」にあたる年です。開校150周年記念事業実行委員会の方が中心になって、子どもだけでなく、地域住民にも思い出に残る活動を計画しています。

先日は、実行委員会の広報部の活動の一つとして「横断幕」を作成されて、それを学校前のフェンスに取り付けました。学校前の見通しのよい道路沿いに掲げましたので、たくさんの方にも見てもらうことができます。と思います。「横断幕」は2枚作成され、もう1枚は黒目中交差点に取り付けられています。

～うちわをいただきました～

また、事業部の方でも様々な活動を計画しておられます。先日は子どもたち一人一人に記念品になる「うちわ」をいただきました。この「学校だよりNo.7」の配付にあわせて、子どもたちが持ち帰ります。



横断幕、うちわともにキャラクターの「いっちょちゃん」が描かれています。出東コミセンの職員さんが出東小のシンボルである「イチヨウの木」をイメージして作成されました。様々な地域の方が、150周年を記念する事業に関わってくださいました。ありがとうございました。



～お礼～

これまで、プールの南側の校地に、大きな草山があって、活動の妨げになっていましたが、この度、三洋興産様のご協力により、これを撤去して、平地にしてもらいました。

ありがとうございました。

